

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-504525 (P2005-504525A)
 【公表日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-007
 【出願番号】特願 2003-510699 (P2003-510699)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)
A 6 1 P 15/18 (2006.01)
C 0 7 K 16/18 (2006.01)
C 0 7 K 16/46 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 15/18
 C 0 7 K 16/18
 C 0 7 K 16/46
 A 6 1 K 37/02

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 5 月 17 日 (2005.5.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ニフトリの V L または V H と少なくとも 80 % の相同性を有し、かつ哺乳動物栄養芽層の合胞性融合を阻害する蛋白質であって、

V L が、以下の配列：

【化 1】

X^0 A L T Q P S S V S A N X^1 G X^2 T V X^3 X^4 T C S G X^5 X^6 X^7 X^8 X^9 X^{10} Y G
 $W X^{11}$ Q Q K X^{12} P G S X^{13} P X^{14} T X^{15} I Y X^{16} X^{17} X^{18} X^{19} R P S X^{20} I P S R F
 S G S X^{21} S G S X^{22} X^{23} T L T I T G F Q A X^{24} D E A V Y X^{25} C G X^{26} X^{27} X^{28}
 X^{29} X^{30} X^{31} X^{32} X^{33} X^{34} X^{35} X^{36} X^{37} X^{38} F G A G T T L T V L G X^{39}

(ここで、

X^0 =未置換、モノもしくはジ置換アミノ基、または 1 つ以上のアミノ酸；

X^1 =PまたはL；

X^2 =GまたはE；

X^3 =KまたはE；

X^4 =IまたはL；

X^5 =GまたはS；

X^6 =SまたはG；

X^7 =GまたはRまたはY ;
 X^8 =SまたはRまたはYまたは欠失 ;
 X^9 =WまたはSまたは欠失 ;
 X^{10} =SまたはKまたはYまたは欠失 ;
 X^{11} =YまたはF ;
 X^{12} =SまたはAまたは欠失 ;
 X^{13} =AまたはTまたは欠失 ;
 X^{14} =VまたはD ;
 X^{15} =VまたはL ;
 X^{16} =NまたはVまたはSまたはDまたはE ;
 X^{17} =NまたはS ;
 X^{18} =NまたはTまたはDまたはK ;
 X^{19} =KまたはN ;
 X^{20} =DまたはN ;
 X^{21} =KまたはV ;
 X^{22} =TまたはA ;
 X^{23} =AまたはHまたはN ;
 X^{24} =DまたはE ;
 X^{25} =YまたはF ;
 X^{26} =NまたはSまたはG ;
 X^{27} =RまたはYまたはGまたは欠失 ;
 X^{28} =Dまたは欠失 ;
 X^{29} =Wまたは欠失 ;
 X^{30} =DまたはKまたはAまたは欠失 ;
 X^{31} =SまたはTまたはD ;
 X^{32} =SまたはAまたはG ;
 X^{33} =AまたはGまたは欠失 ;
 X^{34} =GまたはRまたは欠失 ;
 X^{35} =YまたはNまたは欠失 ;
 X^{36} =VまたはAまたはT ;
 X^{37} =GまたはAまたはN ;
 X^{38} =IまたはAまたはM ;および

X^{39} =カルボキシ基、カルボキシ誘導体または1つ以上のアミノ酸 ;

かつ、哺乳動物栄養芽層の合胞性融合の障害が保たれる限り、いずれかのアミノ酸の相互のコンサバティブな交換が許容され得る。)

を有し、

V Hが、以下の配列 :

【化2】

$X^0 X^1 V T L D E S G G G L Q T P G X^2 X^3 L S L V C K X^4 S G F X^5 X^6 X^7 X^8 Y$
 $X^9 M X^{10} W X^{11} R Q A P G K G L E X^{12} V X^{13} X^{14} X^{15} X^{16} X^{17} X^{18} X^{19} X^{20} X^{21}$
 $X^{22} T X^{23} Y X^{24} X^{25} A V X^{26} G X^{27} X^{28} X^{29} X^{30} X^{31} X^{32} X^{33} X^{34} X^{35} X^{36} X^{37} X^{38}$
 $X^{39} X^{40} X^{41} X^{42} X^{43} X^{44} X^{45} X^{46} X^{47} X^{48} X^{49} X^{50} X^{51} X^{52} X^{53} X^{54} X^{55} X^{56} X^{57} X^{58}$
 X^{59}

(ここで、

X^0 =未置換、モノもしくはジ置換アミノ基、または1つ以上のアミノ酸 ;

X^1 =AまたはSまたはT ;

X^2 =GまたはR ;

X^3 =GまたはAまたはT ;
 X^4 =AまたはG ;
 X^5 =SまたはTまたはD ;
 X^6 =FまたはM ;
 X^7 =SまたはT ;
 X^8 =SまたはDまたはNまたは欠失 ;
 X^9 =GまたはQまたはAまたはT ;
 X^{10} =NまたはAまたはQまたはG ;
 X^{11} =IまたはV ;
 X^{12} =FまたはWまたはY ;
 X^{13} =AまたはG ;
 X^{14} =GまたはAまたはR ;
 X^{15} =IまたはM ;
 X^{16} =SまたはNまたはG ;
 X^{17} =SまたはRまたはN ;
 X^{18} =Gまたは欠失 ;
 X^{19} =FまたはTまたはSまたはN ;
 X^{20} =GまたはSまたはA ;
 X^{21} =NまたはSまたはR ;
 X^{22} =RまたはSまたはY ;
 X^{23} =GまたはAまたはNまたはY ;
 X^{24} =GまたはA ;
 X^{25} =SまたはAまたはP ;
 X^{26} =KまたはQ ;
 X^{27} =RまたはL ;
 X^{28} =AまたはC ;
 X^{29} =TまたはH ;
 X^{30} =IまたはH ;
 X^{31} =SまたはL ;
 X^{32} =RまたはE ;
 X^{33} =DまたはG ;
 X^{34} =NまたはQまたはRまたはDまたはK ;
 X^{35} =GまたはRまたはW ;
 X^{36} =QまたはA ;
 X^{37} =SまたはE ;
 X^{38} =TまたはH ;
 X^{39} =VまたはS ;
 X^{40} =RまたはE ;
 X^{41} =LまたはA ;
 X^{42} =QまたはA ;
 X^{43} =LまたはA ;
 X^{44} =NまたはEまたはS ;
 X^{45} =NまたはQ ;
 X^{46} =LまたはP ;
 X^{47} =RまたはQ ;
 X^{48} =AまたはG ;
 X^{49} =EまたはG ;
 X^{50} =DまたはH ;
 X^{51} =TまたはRまたはL ;
 X^{52} =GまたはPまたは欠失 ;

X^{53} =TまたはPまたは欠失；

X^{54} =YまたはTまたは欠失；

X^{55} =YまたはSまたは欠失；

X^{56} =CまたはAまたは欠失；

X^{57} =AまたはPまたは欠失；

X^{58} =Kまたは欠失；

X^{59} =カルボキシル基、カルボキシル誘導体、または1つ以上のアミノ酸；

かつ、栄養芽層細胞の合胞性融合の障害が保たれる限り、いずれかのアミノ酸の相互のコンサバティブな交換が許容され得る。）

を有し、

配列V LおよびV Hを有する蛋白質が、リンカーによって相互に連結されている、前記蛋白質。

【請求項2】

前記リンカーは、少なくともいずれか5つのアミノ酸からなるペプチド鎖である、請求項1に記載の蛋白質。

【請求項3】

D - アミノ酸が配列中に含まれる、請求項1または2に記載の蛋白質。

【請求項4】

配列番号1～10のアミノ酸配列を有する、請求項1～3の少なくとも1項に記載の蛋白質。

【請求項5】

配列番号11の配列（コンセンサス配列）を有する蛋白質。

【請求項6】

請求項1～5のいずれかに記載の蛋白質をコードする核酸。

【請求項7】

前記核酸は、DNAまたはRNAである、請求項6に記載の核酸。

【請求項8】

請求項6 または7に記載の核酸を含むプラスミドまたはベクター。

【請求項9】

請求項1～5のいずれかに記載の少なくとも1つの蛋白質または請求項6 もしくは7に記載の少なくとも1つの核酸を含む、哺乳動物における避妊のための薬剤。